

黴菌は二十一萬に減り二度洗つたものには七千しか付いて居ませんでした、第三の露店のものも一度洗つたものには五萬一千に減り二度洗ひのものには一萬一千しかありませんでした、さて普通の水で洗つたわけでは之をにたやうに黴菌を殺してしまふ事が出来ませんから水菓子を食へるには洗淨して後にした方がよろしいでございます

裁縫の巧拙

學習院女學部教師 武田太郎吉氏談

總て何事に拘らず天晴れ成就せようとするには緻密なる性質と勤勉なる練習とが成功の第一根本となるのでいかに裁縫の専門學校に通つた處が或期限内に一定の方式を習つて行李に一杯の模型を取つた所が其人は裁縫が上手になつたと云ふ譯には参りませぬ、何故ならば之を練習するの暇がないからです、今日の裁縫専門學校は多く此弊があるやうです、さりとて又裁縫が一通り出来るやうになつたとして而かもその縫つたものが誠に美事の出来栄であるとしても之を仕立上げるに當つて一枚の綿入に一週間もかゝると云ふやうなことでは單に出来ないよりは勝ると云ふだけで決して一人前の専門家と云ふの出来ぬのみが他人に向つて裁縫が好き出来ませぬ、云ふとは許されませぬ、さてそれならば何う云ふ風に裁縫を學ぶのが一番便利であるかと云ふに、元より實物に就ての練習の大切なことは言ふまでもありませんがそれは二つ次の話として第一に大切なことは運針の熟練と云ふことです、専門學校出身の裁縫家の技術が丁稚辻込みの職人に劣ると云ふのは即ち此處に在るのです、學校では何分に長時間に制限があるので運針を練習して居る暇はありません、何年も年季を入れて長い間運針ばかり稽古させられた人に結局は劣けることになるのです若しも此運針に充分熟して後方式を學び愈所を會得するものが出来れば我々の理想通り早くて而かも上手な名人になれると請合です、でありますから家庭に於て阿母さん達が娘御方に裁縫の御稽古の眞個

に始まる前に少し宛でも運針の御稽古なさせて置いて下されば、いざ身を入れて學ぶ時學ぶ人も樂なれば教へる教師も助かります、初學の人が運針のお稽古をしますには姿勢を正し兩方の脇を左右に同じに据ゑ木綿の布を二尺に切り二ツ折にして二分五厘位の縫代として左右の手は大抵五六寸間隔を置いて縫ふのです、初は曲つたりうねつたりしてなか／＼思ふやうに縫へませぬが機ます遣つて居る中には針目も揃ひ眞直に縫へるやうになります、用針は浴衣にしても厚衣着にしても縫ふにもくくるにもシツケを掛けるにも同じ針を用ひます、即ち木綿は三の五繻は四ノ四で運針の稽古にも之を用ひさせて居ります、

雜錄

○新婦人の雜誌の發刊 神田なる同文館は近來婦人雜誌が日に墮落しつゝあるを憤慨し上品にして趣味あり實益ある婦人雜誌として「婦女界」と云へるを發刊したり。

○初號は三月一日の發行にして此號には特に大附録として閑院宮妃殿下御染筆の藤花の石版刷を添へ記事も殊に精選して斬新奇麗のものを取めたり尙ほ同誌の主權として善行旌表會なるものを設け廣く全國に亘り孝女、貞婦、並に内助の功著しき婦人の事蹟を募り當局者の審査を仰ぎて優等者十名にはシンガー裁縫機械井に蒔繪膳椀十人前を與ふる計畫なる由

○二個の新幼稚園 東京市内に於て注目す可き二個の新幼稚園生れんとしつゝあり。一は品川八ツ山なる森村市左衛門氏の邸内に同若夫人の經營せんとするものにして目下頻りに工事中なりと云ふ設備其他固より完全なるものにして理想の幼稚園たるものなりと云ふ。今一つはお伽俱樂部の主幹なる久留島武彦氏の新設する所にしては場所ば青山、穩田、今正に建物の工事中にて出來次第來五月より開園の由なり。而して是は専らお伽俱樂部の保育研究所たる可きものなりと云ふ。